

2023年3月期第2四半期 決算概要説明資料



- I. 2023年3月期第2四半期 決算ダイジェスト
- II. 2023年3月期 業績予想
- III. 各事業の取組状況
- IV. 参考資料

I . 2023年3月期第2四半期 決算ダイジェスト

2023年3月期第2四半期決算のポイント

1. 連結業績

- 売上高は前期並みを確保
- 利益は海外における瑕疵補修費用引当の影響により減益

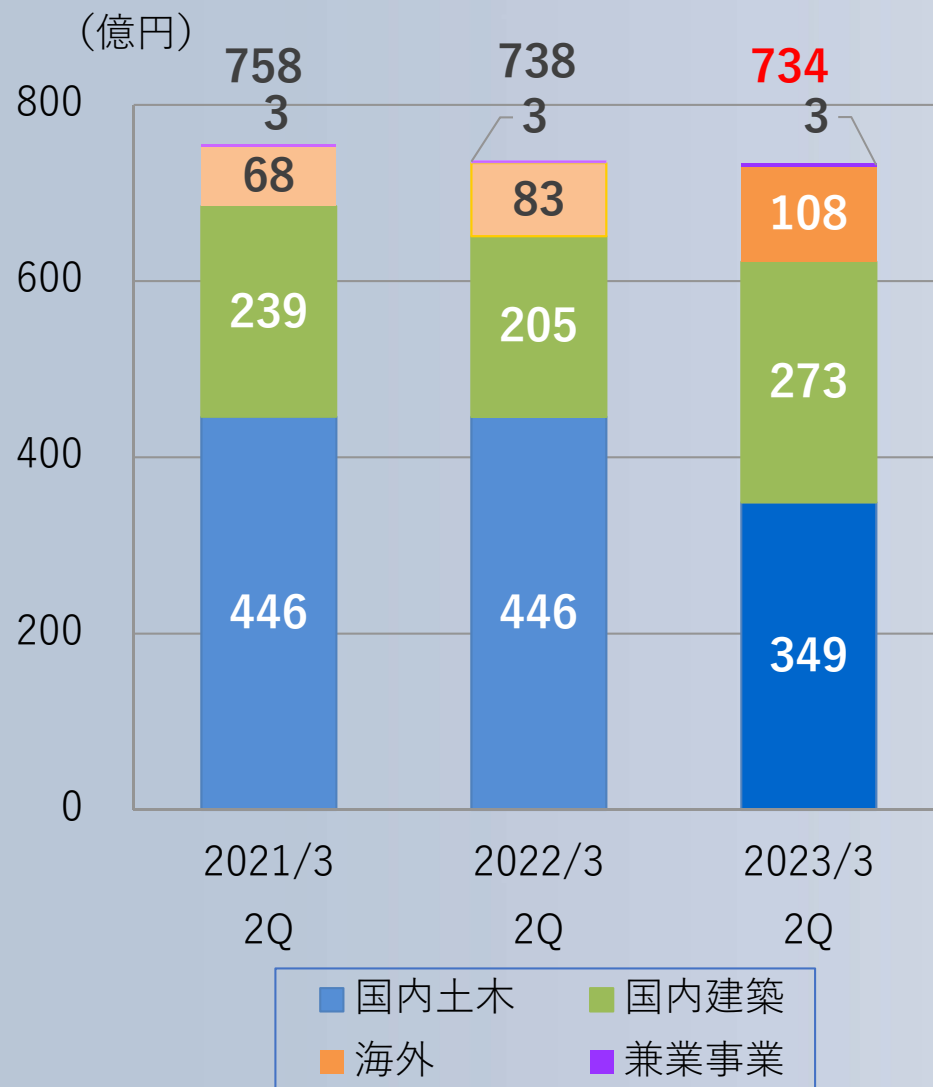
2. 個別受注

- 国内土木は大型案件の受注により、海上・陸上とも増加
- 国内建築は大型食品工場の受注が寄与し、前期並みを確保
- 海外は新規プロジェクトの受注なし

3. 通期予想

- 期初予想に変更なし
- 国内土木は今後の受注と設計変更の獲得が計画達成のポイント
- 国内建築は手持工事が順調に進捗。資材価格上昇は織り込み済み。計画利益の達成を見込む
- 海外は手持工事の順調な進捗と設計変更の獲得により、瑕疵補修の引当計上をどこまでカバーできるかが鍵

連結売上高



※ 1億円未満切り捨て

国内土木

- ◆ 前期繰越工事の減少と1Qの受注伸び悩みにより前期比96億円の減

国内建築

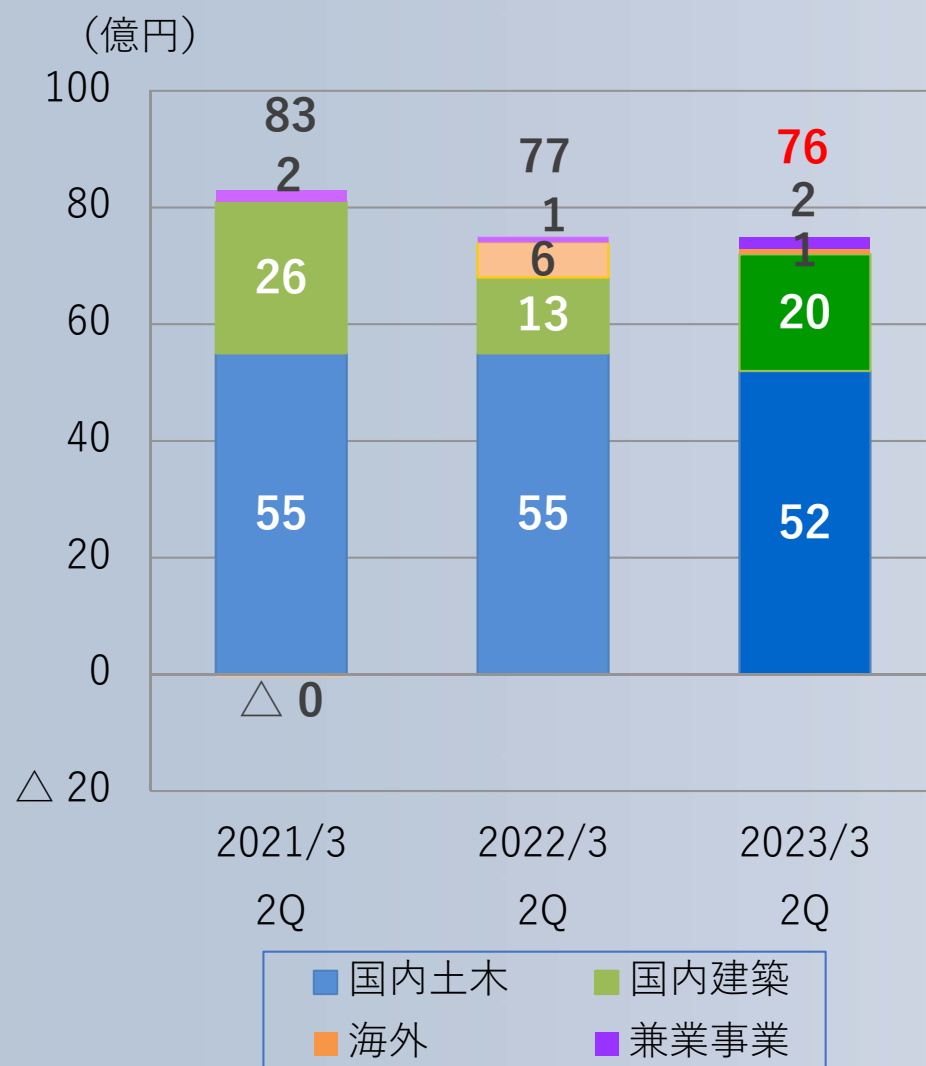
- ◆ 前期繰越工事の増加と手持工事の順調な進捗により前期比68億円の増

海外

- ◆ ケニアの手持工事が完成し、フィリピンの手持工事も順調に進捗したことから前期比24億円の増

※ **国内建築・海外が国内土木をカバーし前期並みの売上高を確保**

連結売上総利益



※ 1億円未満切り捨て

国内土木

- ◆ 設計変更等の獲得により利益率改善も、売上高が減少し前期比約 3 億円の減

国内建築

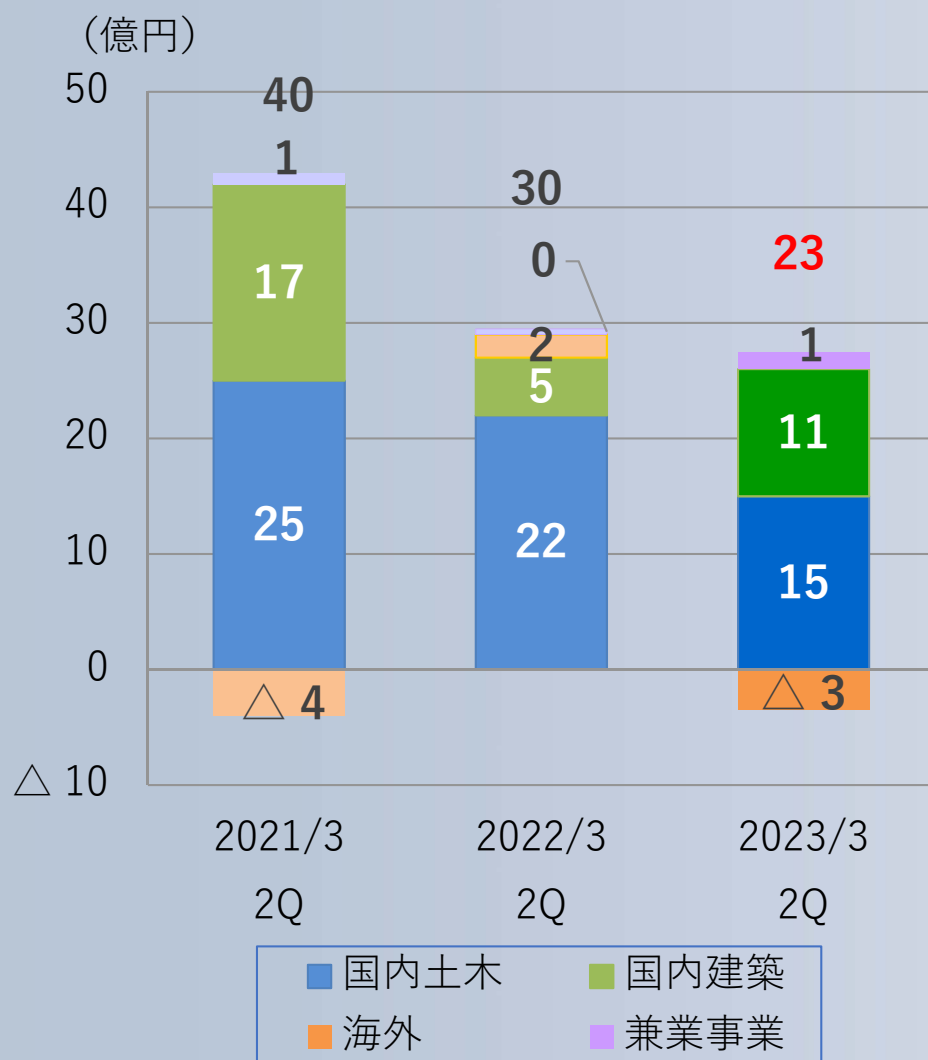
- ◆ 売上高の増と採算の改善が寄与し、前期比約 7 億円の増

海外

- ◆ フィリピンの過年度工事で瑕疵があり、補修費用を 7.2 億円引当したことから前期比約 5 億円の減

※ **国内建築が他セグメントをカバーし、前期並みの利益を確保**

連結営業利益



※ 1億円未満切り捨て

国内土木

- ◆ 人件費等の増加、子会社の採算悪化（指名停止処分等による）により前期比約 6 億円の減

国内建築

- ◆ 売上高の増と完工総利益率の改善により前期比約 5 億円の増

海外

- ◆ 瑕疵補修費用の引当計上があり、前期比約 6 億円の減

※ **国内土木及び海外の利益減少により前期比約 7 億の減**

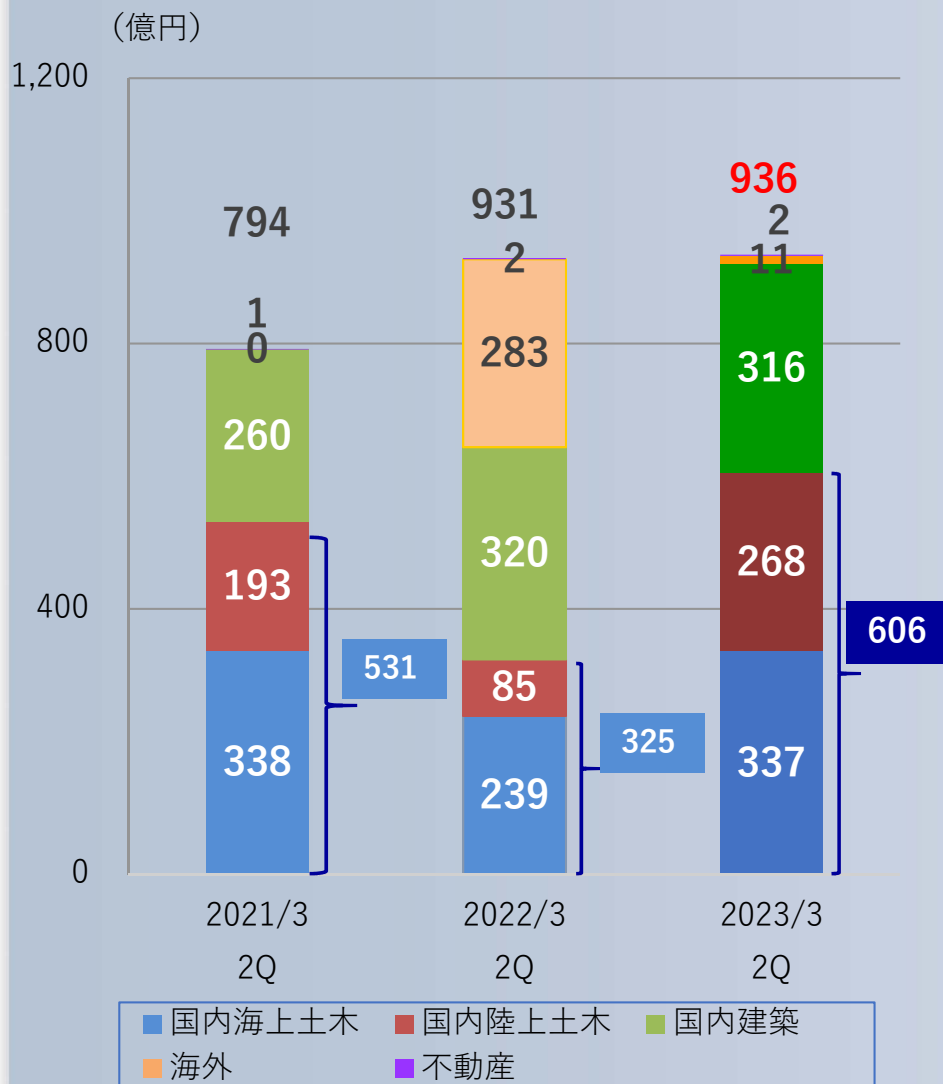
I. 決算ダイジェスト ⑤／連結P L・B S

単位：億円	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q		
			実績	利益率	前期比 増減
売上高	758	738	734	—	△ 4
完成工事高	755	735	731	—	△ 4
国内土木	446	446	349	—	△ 96
国内建築	239	205	273	—	68
海外	68	83	108	—	24
兼業事業売上高	3	3	3	—	0
売上総利益	83	77	76	10.4%	△ 1
完成工事総利益	81	75	74	10.1%	△ 1
国内土木	55	55	52	14.9%	△ 3
国内建築	26	13	20	7.4%	6
海外	△ 0	6	1	1.6%	△ 4
兼業事業総利益	2	1	2	69.4%	0
営業利益	40	30	23	3.3%	△ 6
国内土木	25	22	15	4.4%	△ 6
国内建築	17	5	11	4.1%	5
海外	△ 4	2	△ 3	△ 3.7%	△ 6
兼業事業	1	0	1	43.6%	0
経常利益	37	30	23	3.2%	△ 6
親会社株主に帰属する当期純利益	23	18	17	2.4%	0

単位：億円	2021/3	2022/3	2023/3 2Q	
			実績	前期末比 増減
流動資産	1,090	965	931	△ 34
現金預金	167	305	287	△ 17
受取手形及び 完成工事未収入金等	701	515	521	5
未成工事支出金	27	24	28	4
固定資産	399	389	389	0
有形固定資産	323	315	311	△ 3
投資その他の資産	70	65	68	3
資 産 合 計	1,489	1,355	1,320	△ 35
流動負債	715	547	519	△ 28
支払手形・工事未払金等	322	297	266	△ 31
短期借入金	78	28	24	△ 4
未成工事受入金	131	86	74	△ 11
固定負債	115	109	102	△ 7
長期借入金	27	27	23	△ 3
負 債 合 計	830	656	621	△ 35
純資産	658	698	699	0
資本金	140	140	140	0
利益剰余金	414	449	448	△ 1
負債・純資産合計	1,489	1,355	1,320	△ 35

※ 1億円未満切り捨て

受注高の状況（個別）



※ 1億円未満切り捨て

市場環境

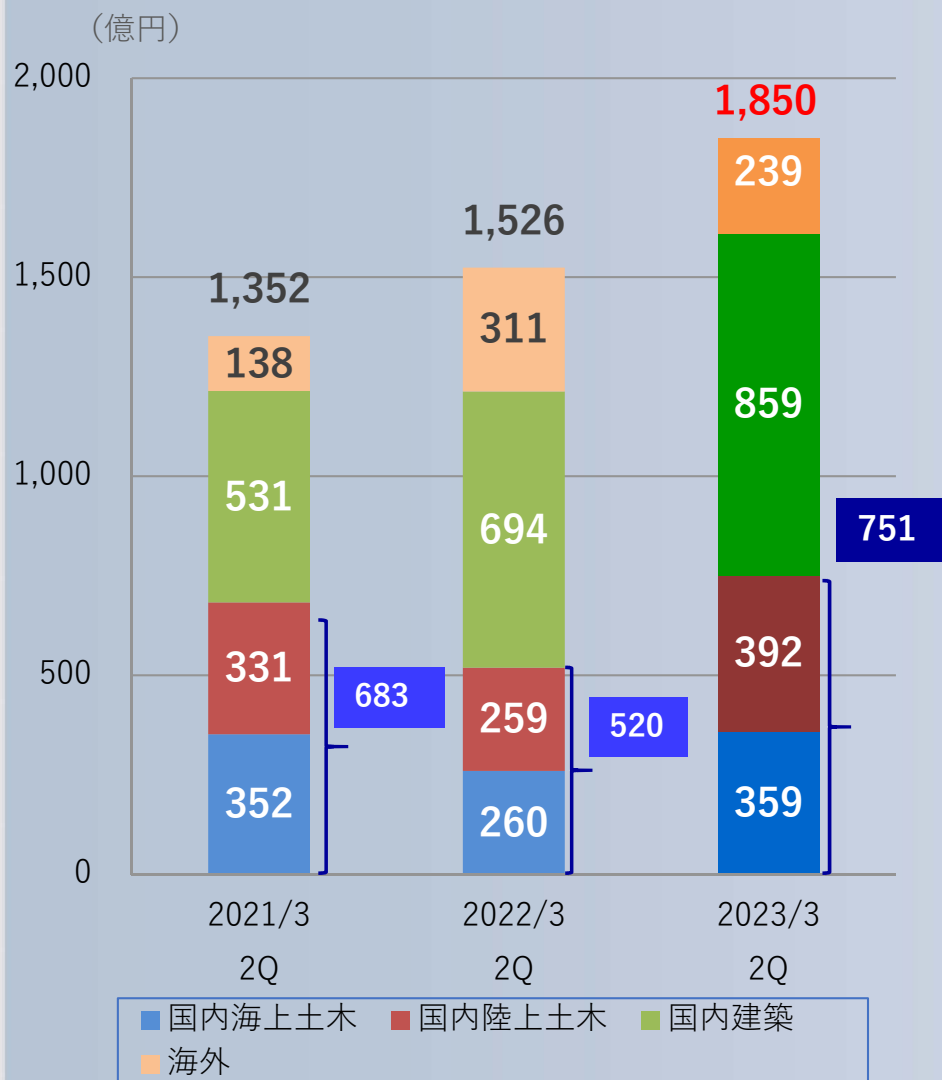
- ◆ 国内土木は、国土強靱化 5 か年加速化対策など公共を中心に堅調
- ◆ 国内建築の競争は厳しさを増しているものの、当社が強みを持つ食品工場や物流施設、環境施設の投資意欲・需要は旺盛

23年3月期第2四半期実績

- ◆ 国内土木は海陸とも大型案件獲得が寄与し大幅増も、大型案件を除けば計画どおりの受注高は確保できず
- ◆ 国内建築は食品工場、物流倉庫を中心に受注を積み上げ、前期並みの受注高を確保
- ◆ 海外は新規工事の受注なし。手持工事の設計変更のみ

※ 国内土木の増加により、前期並みの受注高を計上

繰越高の状況（個別）



- ◆ 国内土木は大型案件を受注し、繰越工事高が大きく回復
- ◆ 国内建築も大型食品工場の受注により大幅増
- ◆ 海外はケニア・モンバサ港の完成、手持工事の進捗により減少

※ 繰越高は順調に増加している

※ 1億円未満切り捨て

I. 決算ダイジェスト ⑧／個別業績

	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q		
			実績	利益率	前期比 増減
売上高	675	663	645	－	△ 17
完成工事高	673	660	642	－	△ 17
国内土木	406	400	316	－	△ 84
国内建築	234	201	270	－	68
海外	32	58	56	－	△ 1
不動産事業売上高	1	2	2	－	0
売上総利益	68	64	69	10.8%	5
完成工事総利益	67	63	68	10.6%	4
国内土木	45	46	45	14.3%	△ 1
国内建築	25	13	20	7.4%	6
海外	△ 3	3	3	5.6%	0
不動産事業総利益	0	0	1	49.2%	0
営業利益	32	24	24	3.8%	0
国内土木	19	16	12	4.0%	△ 3
国内建築	17	6	11	4.2%	5
海外	△ 5	1	△ 0	△ 0.4%	△ 1
不動産事業	0	0	1	47.1%	0
経常利益	30	25	24	3.8%	0
当期純利益	19	16	17	2.7%	0

単位：億円	2021/3	2022/3	2023/3 2Q	
			実績	前期末比 増減
流動資産	1,012	868	821	△ 47
現金預金	124	242	223	△ 18
受取手形・電子記録債権・ 完成工事未収入金等	676	490	488	△ 1
未成工事支出金	26	23	25	1
固定資産	369	362	361	0
有形固定資産	286	281	282	1
投資その他の資産	73	71	69	△ 1
資 産 合 計	1,382	1,231	1,183	△ 48
流動負債	680	500	457	△ 42
支払手形・工事未払金等	300	272	228	△ 43
短期借入金	77	25	24	△ 1
未成工事受入金	127	75	63	△ 12
固定負債	98	95	92	△ 3
長期借入金	26	27	23	△ 3
負 債 合 計	778	596	549	△ 46
純資産	603	635	633	△ 1
資本金	140	140	140	0
利益剰余金	371	402	400	△ 1
負債・純資産合計	1,382	1,231	1,183	△ 48

※ 1億円未満切り捨て

I. 決算ダイジェスト ⑨／中計の進捗状況

	中期経営計画					2021年3月期～2023年3月期第2四半期迄累計					
	土木	建築	海外	兼業 事業	合計	土木	建築	海外	兼業 事業	合計	進捗率
売上高	2,943	1,716	638	23	5,320	2,326	1,195	449	20	3,990	75%
売上総利益	367	148	58	13	586	356	99	32	12	499	85%
営業利益	167	97	28	8	300	191	56	8	8	263	88%

	中期経営計画 累計	2023/3 2Q迄累計	進捗率
経常利益	293	256	87%
当期純利益*	192	168	88%
純資産	702	699	100%

◆ 連結営業利益（目標300億円）の達成に向け順調に進捗

◆ 純資産はほぼ目標値に到達

当期純利益*：親会社株主に帰属する当期純利益

II. 2023年3月期 業績予想

II. 業績予想

単位：億円	中期経営計画 2023/3 (連結)					2023/3 予想 (連結)					中期経営計画 2023/3 (個別)					2023/3 予想 (個別)				
	土木	建築	海外	不動産 他	合計	土木	建築	海外	不動産 他	合計	土木	建築	海外	不動産 他	合計	土木	建築	海外	不動産 他	合計
受注高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	885	600	210	-	1,695	1,028	600	90	—	1,718
売上高	986	584	192	8	1,770	911	662	240	7	1,820	900	580	120	5	1,605	840	650	131	4	1,625
売上総利益	141	56	22	5	226	132	48	19	4	203	124	54	13	2	193	119	46	8	1	175
売上総利益率	14.3%	9.6%	11.5%	62.5%	12.7%	14.5%	7.3%	7.9%	57.1%	11.2%	13.8%	9.3%	10.8%	40.0%	12.0%	14.2%	7.2%	6.3%	42.5%	10.8%
一般管理費	66	18	10	2	97	75	17	11	1	106	59	17	5	0	82	67	16	6	0	90
営業利益	75	38	12	3	128	56	30	7	2	97	65	37	8	2	112	51	30	2	1	85
営業利益率					7.2%					5.3%					7.0%					5.2%
経常利益					126					96					112					85
当期純利益 ^{*1}					83					65					76					60
ROE					11.8%					9.2%					—					9.2%

◆ 期初に発表した業績予想の達成を見込む

※ 1億円未満切り捨て

Ⅲ. 各事業の取組状況

海底ケーブル敷設工事を注力分野に選定

ケーブル敷設船の建造

現在設計実施中

2024年度 建造着手予定(設備投資額約200億円)

2025年度 完成、2027年度 工事投入予定

他社に先駆けて国内最大級のケーブル敷設船を建造し、海底ケーブル敷設工事を優先的に受注、事業量を拡大する



大水深杭打設作業イメージ



国内最大級の自航式ケーブル敷設船により、着床式・浮体式の海底ケーブル敷設の他、様々な外洋作業(沖合での杭打設作業等)への適用が可能。多様な分野に就役させることで安定的に収益を確保。

外洋作業船の調達

商船三井との協業

2022年2月：商船三井と洋上風力発電関連作業船の協業検討に関する覚書を締結

現在：洋上風力発電事業に関連する作業船について、市場調査、事業性、技術面等様々な角度から調達検討を実施中

両社のシナジー効果により、洋上風力発電事業のバリューチェーンに広く貢献



東洋建設

海洋工事の豊富な知見
洋上風力の技術開発

商船三井

船舶の建造、保有、運航
における豊富な実績

+

洋上風力発電事業への参入機会獲得により事業量拡大

着床式基礎工事の低コスト化技術を確立

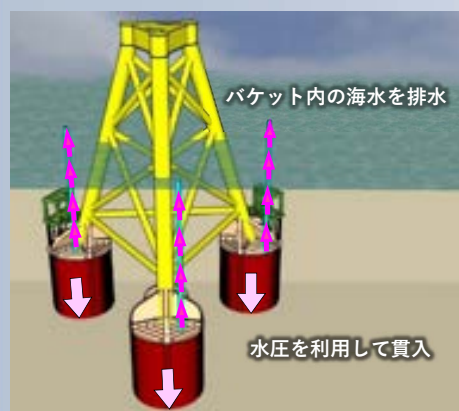
サクシヨンバケット基礎

2021年度：モノバケットの実海域実証実験実施
→サクシヨン技術の施工性を確立

2022年度：マルチバケット実証実験実施

2026年頃 商用化・実用化予定

サクシヨン基礎を始めとした技術開発により、着床式基礎工事のトップランナーを目指す



マルチバケット貫入の仕組み



マルチバケット実海域実験

サクシヨン基礎全般

- ・堆積層が薄い日本の地盤に適した工法 → 洋上風力の適地が拡大
- ・施工中の騒音振動が皆無 → 環境面で優位性大
- ・大型の作業船や施工機械が不要 → 低コスト化を実現
- ・確実に撤去が可能 → 事業リスクが低減
- ・マルチバケット基礎 → 15MW以上の大型風車に
対し、大幅なコストダウン

浮体式技術開発を推進

TLP浮体係留基礎技術

2021年度：グリーンイノベーション基金事業※¹に採択

2022年度：係留基礎の設計及び室内実験実施
北海道石狩湾における海底地盤調査を
実施(2022年8月)

2030年度初頭 商用化・実用化予定

導入拡大が確実視される浮体式係留技術を開発し、
浮体係留基礎工事の事業量を優位に獲得



三井海洋開発提供

TLP浮体イメージ図

- ・他の浮体形式に比べて海域の占有面積が小さく、漁業等環境への影響が少ない
- ・浮体動揺が少なく風車の故障リスク低減が期待でき、LCC低減に寄与

※ 当社は三井海洋開発株式会社、古河電気工業株式会社および株式会社JERAと4社で、グリーンイノベーション基金事業(NEDO事業)において、「TLP方式による浮体式洋上風力発電低コスト化技術検証事業」に取り組んでいます。



写真提供：株式会社JERA

石狩湾における海底地盤調査

ソリューション営業力強化

注力分野、ReReC[®]分野でソリューション営業力を発揮

注力分野での大型案件取組

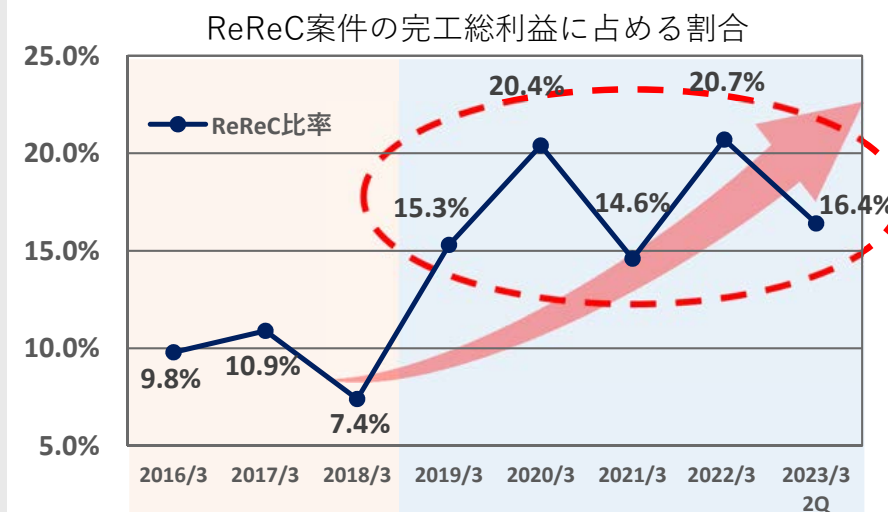
◇得意分野の生産施設分野で大型食品工場受注



工 事 名：Peace Deli 千葉菅田 PJ
 発 注 者：(株)Peace Deli
 工 期：2022年9月～2024年1月
 構造概要：S造2階建て
 延床面積：22,000㎡

計画的ReReC[®]案件取組

◇ReReC[®]案件の受注拡大と利益貢献比率上昇



< 施工中案件 >

- ・化成品生産施設BCP対策工事（千葉県）
- ・研究施設改修工事（神奈川県）
- ・化粧品生産施設改修工事（大阪府）
- ・冷凍冷蔵倉庫改修工事（長崎県）

BIMデータ連携による生産性向上への取組みを加速

国土交通省が実施しているBIMモデル事業へ3年連続で採択

設計概算手法によるコスト算出の迅速化 AIコスト予測に関する評価・検証

検証評価イメージ図



複数のプロジェクトモデルを用いて
以下2点の把握・検証を目指す

- (1) 設計BIMモデルから、概算コストを算定
- (2) 物価上昇を含めた将来コスト変動リスクの把握

BIMモデル×自律型ドローン*を活用した 遠隔工事監理手法に関する評価・検証

検証評価イメージ図



BIMデータと自律型ドローンを用いて
以下2点の実効性を検証

- (1) BIMデータに基づく自律型ドローン運用の可能性
- (2) 遠隔地からの工事監理の可能性・問題点の把握

BIMデータ連携による効率化を、コスト算出・現場進捗管理へ拡大

地域に根差した事業展開

(複数の拠点国に、強固な事業基盤があり、安定した収益を確保)

営業戦略

- ODA + 民間拡大
- 技術力と営業体制の強化を行い受注拡大

収益確保戦略

業務／作業効率化

ICT活用等による安全・品質・生産性の向上



施工体制確立

事業規模に見合った対応／ダイバーシティの推進
パートナーとの関係強化



現場力強化 (若手／現地スタッフ)

問題対応能力

交渉能力

マネジメント能力

提案力強化による
民間土木案件獲得

民間

安定した
事業規模の確保

防災・環境事業 (洪水、上下水整備)

基本インフラ事業 (港湾、橋梁)

ODA

安定した収益確保

収益の柱の一つとなり、
拠点国の発展と共に成長し進化し続ける企業としての地位を確立

拠点国の取組状況 ① 最重要拠点国 フィリピン／ODA

施工中工事の状況

パッシング・マリキナ河川改修フェーズⅣ CP2&3

- ◆発注者：フィリピン共和国公共事業道路省
- ◆契約金額：CP2 約172億円／CP3 当社分約97億円
- ◆契約工期：2021年10月～2025年10月
- ◆洪水被害緩和及び川沿いの環境改善を図るための護岸・河川改修工事

本工事を通して若手職員や現地スタッフの
現場力強化中

ICTやIoTの
積極的な活用
施工技術の練磨



若手職員・現地スタッフの教育



次期注目工事

パッシング・マリキナ河川改修フェーズⅣ CP1 (STEP)

- ◆ 総額140億円超規模 ◆ 2023年度入札公示予定



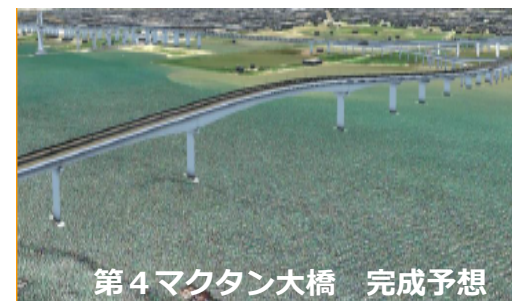
フェーズⅢ 当社施工 完成済



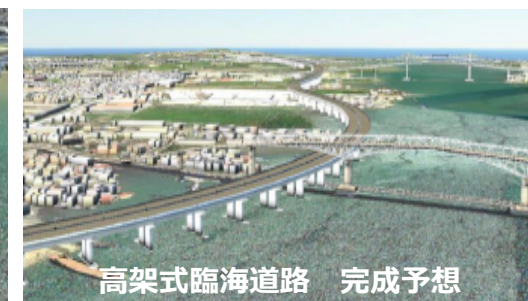
フェーズⅢ 当社施工 完成済

セブ-マクタン橋 及び 沿岸道路建設事業 (STEP)

- ◆ 2020年度円借款供与（総額1200億円規模）
- ◆ セブ本島とマクタン島を連結する第4マクタン大橋及び同橋梁に接続する高架式臨海道路の建設
- ◆ 2023年度入札公示予定



第4マクタン大橋 完成予想



高架式臨海道路 完成予想

拠点国の取組状況 ② 最重要拠点国 フィリピン／民間事業（CCT 現地法人）

- ・創 立 1976年
- ・従 業 員 日本人職員 17名、現地職員 254名
- ・施工実績 292案件、総延べ床面積約1,822,895㎡
- ・顧 客 数 144社（2022年9月末現在）
- ・売 上 高 前年度比 187%（2022年度見込）

日系建設会社屈指の半世紀の歴史と実績



三菱電機様 レーダー基地新築工事（2022年8月完成）



太平洋セメントフィリピン様 既設岸壁緊急復旧工事
（2022年5月完成）

地域に根差した企業として安定収益を
確保できる建築・土木の2本柱を確立

民間建築

日系顧客関係強化継続

大型案件への取組対応強化

非日系顧客新規開拓

民間土木

提案力強化による新規顧客獲得

東洋建設との一体化を強化

（シナジー効果を発揮）

地域戦略

マニラ周辺から他大都市圏へ拡大
（カガヤンデオロ/セブ/ダバオ）

現地建設会社との関係強化

拠点国の取組状況 ③ 重要拠点国 ケニア／ODA

完成工事

モンバサ港コンテナターミナル開発工事

フェーズ1：2016年2月完成

フェーズ2：2022年5月完成



次期注目工事（円借款 港湾）

モンバサ経済特区(SEZ)

港湾整備計画（STEP）

円借款供与額371億円／ジャケット式岸壁他
2022年11月入札公示



ジャケット工法
当社施工実績（ミャンマー）



モンバサ周辺開発計画

次期注目工事（無償 SEZ）

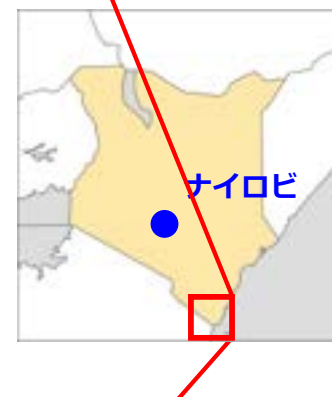
モンバサ経済特区(SEZ)工業団地整備計画

無償資金供与額 60億円／SEZの造成
2023年度入札公示予定

次期注目工事（円借款 港湾）

モンバサ港コンテナターミナル 開発計画フェーズ3（STEP）

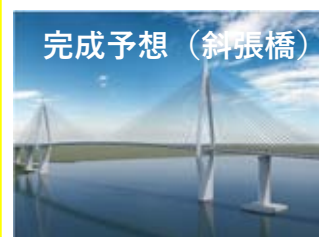
コンテナターミナル工事：約180億円規模
2025年度入札公示予定



次期注目工事（円借款 橋梁）

モンバサゲートブリッジ建設計画（STEP）

円借款供与額 478億円／斜張橋、高架式道路他
2023年度入札公示予定



完成予想（斜張橋）



鋼管矢板井筒基礎
当社施工実績

IV. 參考資料

V. 主要グループ会社 業績推移

	(株)トマック			タチバナ工業(株)			日下部建設(株)			C C T *		
	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
(単位：億円)												
売上高	30.8	18.4	24.4	23.2	34.8	15.9	11.6	11.1	11.5	36.0	25.6	51.7
売上総利益	3.4	1.7	3.5	3.9	5.2	1.3	1.9	1.5	1.7	3.0	2.4	5.8
一般管理費	1.4	1.5	1.6	1.3	1.4	1.3	0.7	0.8	1.0	1.9	1.7	2.3
営業利益	1.9	0.2	1.8	2.5	3.8	△ 0.0	1.1	0.6	0.7	1.1	0.7	3.4
経常利益	2.1	0.2	1.8	2.5	3.8	0.7	1.1	0.6	0.7	0.9	0.5	3.8
当期純利益	1.3	0.1	1.2	1.7	2.4	0.5	1.0	0.5	0.5	0.6	0.6	2.9

* C C T は 1 2 月決算

※ 1 千万円未満切り捨て

V. 2023年3月期第2四半期までの主な受注工事

	発注者	工事名	施工場所
土木	西日本高速道路株式会社	中国自動車道（特定更新等）宝塚IC～神戸JCT間土木構造物更新工事（その1）	兵庫県宝塚市
	東日本高速道路株式会社	首都圏中央連絡自動車道 松尾工事	千葉県山武郡横芝町
	横浜市	新本牧ふ頭建設工事（その28・外周護岸B-2基礎及び本体工）	横浜市中区
	横浜市	新本牧ふ頭建設工事（その29・外周護岸B-2基礎及び本体工）	横浜市中区
	国土交通省 東北地方整備局	能代港大森地区岸壁（-10m）地盤改良工事	秋田県能代市
	東京都	南部汚泥処理プラント焼却炉基礎その1 2 工事	東京都大田区
	国土交通省 中国地方整備局	広島港出島地区岸壁（-12m）地盤改良工事	広島県広島市
	東京都	綾瀬川護岸耐震補強工事（その211）その2	東京都葛飾区
	国土交通省 中国地方整備局	徳山下松港下松地区栈橋（-19m）築造工事（その2）	山口県下松市
	四日市港管理組合	令和4年度 特建港改 第5号 霞ヶ浦地区北ふ頭護岸築造（捨石）工事（その1）	三重県四日市市
	国土交通省 中国地方整備局	徳山下松港徳山地区岸壁（-14m）築造工事	山口県周南市
	東京都	浜川ポンプ所整備工事	東京都品川区
	国土交通省 関東地方整備局	令和4年度 東京湾中央航路北側護岸他付帯工事	千葉県富津市
	前田建設工業株式会社	大洲バイオマス発電所拓海新設栈橋工事	愛媛県大洲市
	国土交通省 近畿地方整備局	和歌山下津港海岸（海南地区）船尾南護岸（第3工区）等築造工事	和歌山県海南市
建築	株式会社Peace Deli	Peace Deli千葉菅田PJ新築工事	千葉県千葉市
	株式会社食研	（仮称）株式会社食研豊橋工場新築工事	愛知県豊橋市
	株式会社ランテック	株式会社ランテック湘南支店増築工事	神奈川県伊勢原市
	横浜冷凍株式会社	（仮称）ヨコレイ箱崎物流センター新築工事（建築工事）	福岡県福岡市
	アドレス・サービス株式会社	アドレス・サービス㈱新棟新築工事	千葉県東金市
	村田機械株式会社	（仮称）村田機械株式会社伊勢事業所新生産棟新築工事	三重県伊勢市
	山一電機株式会社	（仮称）山一電機株式会社佐倉事業所第2棟新設工事	千葉県佐倉市
	関電プラント株式会社	新高浜寮（仮称）新築工事および除却工事	福井県大飯郡高浜町
	株式会社ミリオナ化粧品	ミリオンプロジェクト	大阪府東大阪市
	村田機械株式会社	ムラテックメカトロニクス株式会社大分工場第2工場棟建設工事	大分県豊後高田市
	株式会社武蔵野	武蔵野神奈川工場鮮度延長改修工事	神奈川県厚木市
	独立行政法人国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	弓削商船高専図書館棟等改修その他工事	愛媛県越智郡上島町
	株式会社武蔵野	武蔵野埼玉工場鮮度延長改修工事	埼玉県朝霞市

V. 2023年3月期第2四半期までの主な完成工事

	発注者	工事名	施工場所
土	ケニア港湾公社	モンバサ港コンテナターミナル開発工事（2期）（STEP案件）	ケニア共和国
	西日本高速道路株式会社	四国横断自動車道 吉野川大橋工事	徳島県徳島市
	株式会社JERA	袖ヶ浦火力発電所 BOG処理対策工事のうち土木建築設備建設並びに関連除却工事	千葉県袖ヶ浦市
	国土交通省 関東地方整備局	横浜港新本牧地区護岸（防波）東側築造工事	神奈川県横浜市
	東京都	六郷ポンプ所設備再構築に伴う建設及び耐震補強工事	東京都大田区
	国土交通省 九州地方整備局	令和2年度北九州港（響灘東地区）岸壁（-10m）築造工事	福岡県北九州市
	神戸市	神戸港西部地区港湾施設改修及び整備工事（その2）	兵庫県神戸市
	四日市港管理組合	令和3年度特建港改第12号 霞ヶ浦地区北ふ頭護岸築造（地盤改良）工事（その2）	三重県四日市市
木	国土交通省 関東地方整備局	鹿島港外港地区岸壁（-12m）築造工事	茨城県鹿嶋市
	横浜市	新本牧ふ頭建設工事（その22・外周護岸A基礎工）	神奈川県横浜市
	国土交通省 近畿地方整備局	神戸港航路附帯施設基礎工事（第2工区）	兵庫県神戸市
	国土交通省 中国地方整備局	水島港水島玉島地区航路（-12m）浚渫工事	岡山県倉敷市～笠岡市
	国土交通省 中国地方整備局	徳山下松港徳山地区岸壁（-14m）築造工事	山口県周南市
建 築	国土交通省 近畿地方整備局	舞鶴港和田地区岸壁（-12m）地盤改良工事（第2工区）	京都府舞鶴市
	株式会社魚笑庵	ホテル川六第3期増改築工事	香川県高松市
	トールエクスプレスジャパン株式会社	（仮称）トールエクスプレスジャパン名古屋支店新築工事	愛知県あま市
	三菱UFJ信託銀行株式会社	徳丸四丁目新築工事	東京都板橋区
	高圧ガス工業株式会社	（仮称）高圧ガス工業㈱福島高圧ガス流通センター新築工事	福島県福島市
	小学館不動産株式会社	（仮称）神保町1-4-1計画新築工事	東京都千代田区
	ダイセー整備株式会社	（仮称）ダイセー整備㈱工場新築工事	愛知県一宮市
	昭和図書株式会社	（仮称）昭和図書株式会社館林物流センター新築工事	群馬県館林市
	小学館不動産株式会社	（仮称）神保町2-1-9計画新築工事	東京都千代田区
	センコー株式会社	（仮称）センコー㈱中部住宅物流センター中川第5倉庫新築工事	愛知県名古屋市中村区
	E.N.E.O.S株式会社	共同事務所新設及び浄化槽改善工事PJ（EPC）	和歌山県有田市
	ピー・アンド・ジー株式会社	SUD line3フェーズ2ファシリティーユーティリティ	群馬県藤岡市
	横浜冷凍株式会社	横浜冷凍㈱長崎物流センター2号棟改修計画（荷捌室10℃案）	長崎県長崎市

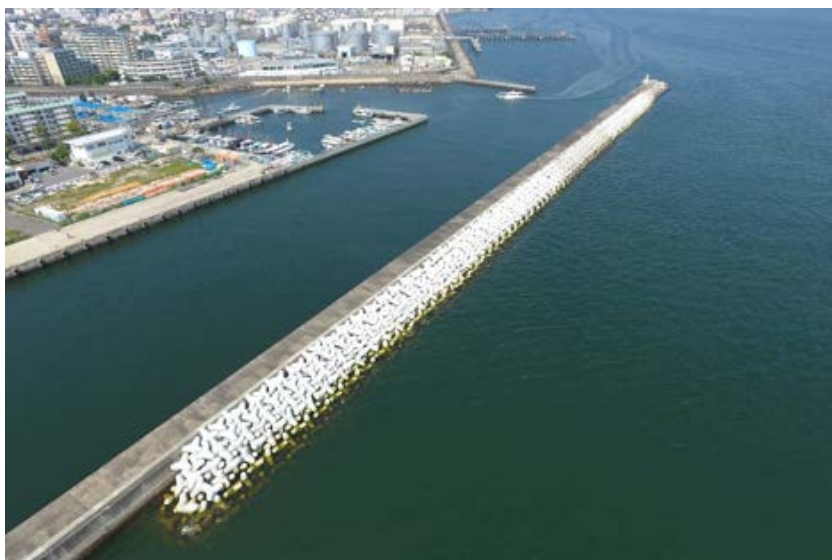
V. 2023年3月期第2四半期までの主な完成工事（土木）



モンバサ港コンテナターミナル開発工事（2期）
（STEP案件）（ケニア共和国）



横浜港新本牧地区護岸（防波）東側築造工事（神奈川県）



神戸港西部地区港湾施設改修及び整備工事（その2）
（兵庫県）



四国横断自動車道 吉野川大橋工事（徳島県）

V. 2023年3月期第2四半期までの主な完成工事（建築）



（仮称）高圧ガス工業(株)福島高圧ガス流通センター
新築工事（福島県）



徳丸四丁目新築工事（東京都）



（仮称）トールエクスプレスジャパン名古屋支店新築
工事（愛知県）



ホテル川六第3期増改築工事（香川県）

東洋建設株式会社

経営管理本部 広報部 北村 健

Tel : 03-6361-2691

本資料には当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略など将来に関連する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述については、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社業績または展開に対し確約や保証を与えるものではありません。
ご利用につきましては、予想と異なる結果になる可能性がある点をご留意された上で、ご利用ください。